

スカウト おおいた

第58号

2020年10月 1日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会

スカウティング ネバーストップ

「スカウトは元気に活動再開！」

公益社団法人 日本ボーイスカウト大分県連盟
プログラム委員長 光来出忠司

三指 日頃よりボーイスカウト大分県連盟の各種プログラムに対しまして、各団指導者、団委員、保護者の皆様のご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

今年度最初の県連プログラムは、7月23、24日に津久見市高浜海岸でベンチャースカウト18名参加により実施した「パイオニアリング」。スカウトは新型コロナウイルス感染拡大防止の活動自粛を終えた6月中旬から、「大型構築物」として何を構築するか考え、設計図、資材リスト、作業計画書、模型等を作り、資材(孟宗竹250本等)を調達しました。当日は6人乗りの「大型いかだ」3艘をスカウトだけで構築し、雨の中、太平洋に漕ぎ出すことが出来ました。

次の県連プログラムは、9月6日大分県護国神社儀式殿をお借りして、ベンチャースカウト15名が参加した「スカウトフォーラム」。

今年度のテーマは「スカウティングとSDGs(エスディージーズ)」。

2015年の国連サミットで採択されたSDGs(持続可能な開発目標)の「17目標」達成の為、大分県のベンチャースカウトが5つのアクションを決めました。①ゴミや水の量を制限し、カロリーを計算した料理、エコバックを使用する「キャンプ」②議題はチームで考えるディスカッション③おにぎりアクション④避難場所の確認⑤ゴミ拾い。スカウトは3つのチームに分かれて、12月14日までの100日間、このアクションに挑戦します。

最後にビーバー隊、カブ隊、ボーイ隊のスカウトの保護者の皆様、お子様がベンチャー隊に上進し、自発的で積極的なプログラムを経験出来るよう、ご支援、ご協力をお願い致します。



進級章〔隼・菊章〕 交付

(9月13日)



隼スカウト章

田原 香菜 別府第9団



弥栄

菊スカウト章

*宮川 大翔 大分第2団
*江利角 颯人 大分第2団
*福盛 雅人 大分第2団
*徳永 匠飛 別府第9団

緊急企画

「コロナに負けるな！」

①活動が自粛時期中・・・あなたの団（隊ごとに）では、どのような工夫をして活動していましたか？

②少しずつ地域の学校の活動状況に合わせて再開へと動き出した時に、あなたの団（隊ごとに）の活動はどのように変化していきましたか？

中津第8団



団委員さんに協力してもらいナイフを使って、お箸とうつわ作りをしました。お箸にくぼみを入れたり尖らせたり工夫したお箸が出来ました。一生懸命作ったマイお箸とうつわで、お昼にそうめんを食べ終始賑やかな集会となりました。

別府第9団



～6月の入隊式の後、ビーバー達は3密を避けながら、南立石公園で虫取りや木登りを楽しんでいます。

7月には、写真のような〔噴水フルーツパフェ〕を作りました。

サイダーの中にお菓子のラムネ玉を入れると、あーら不思議！

家に帰って、またフルーツパフェを作ったスカウトもいたようです。

特に今年は、ラジオ体操で身体を動かしたり、「雨にも負けず」の詩を読んだりして、コロナに負けないように皆でがんばっています。～

大分第1団



集会(ビーバー)

集会は、三密にならないようにマスク着用の上で行っています。

友達同士の間隔もチョッピリ開けています。



笑顔と笑い声が溢れる活動(ボーイ)

キャニオニングでは、密にならないように距離を空けて、でも楽しく笑顔と笑い声が絶えない活動を実践しています。

大分第2団



『おうちでスカウティング始めました』

2団 BVS 隊

自粛期間中、『スカウト活動は家でもできる!』という事で、ビーバーノートをもとに『おうちでスカウティング』を実施。基本的な挨拶をする事など身近に出来る事や廃材を使ったおもちゃ作り、マシュマロアイス作りなど、様々な分野に挑戦。活動は写真で共有し直接会えなくても繋がっていることを実感。また自粛明け1発目の集会は、住吉浜リゾートパークで海遊び。念願のバナナボート体験も!!□久々の集会でスカウトのパワーは溢れてました。改めて元気なスカウトをみて、このコロナ禍を受け止め、その中で何が出来るとか。活動を通じて心の免疫を高めていく事の大切さを学びました。『コロナに負けてる暇はない』

大分第5団



コロナ禍の中。集会が出来ず、ビーバー&カブ隊はお家でできる工作やクイズを郵送したり、チャレンジ賞を進めて貰いました。カブ隊はスカウトに活動内容案内(カブ便り)を出します。

活動再開時は主に野外活動中心に感染対策をし、その場での料理はなく、スカウト弁当を離れて食しました。

いつもとは違う形でもスカウト同士の空気感を大切に活動しています。

大分第9団



6月7日 入隊式(ボーイ隊 1名入隊)

自粛で活動ができませんでしたが、やっと少しずつ活動ができるようになってきました。6月には、新しくスカウトがボーイ隊に入隊しました。入隊式では堂々と誓いをたてました。

9月13日 隊集会(救急法)

スカウトたちは「キャンプに行きたい。」とウズウズしています。マスク着用や手洗いなど、密にならないように気をつけながら、活動していきたいと考えています。

由布第2団



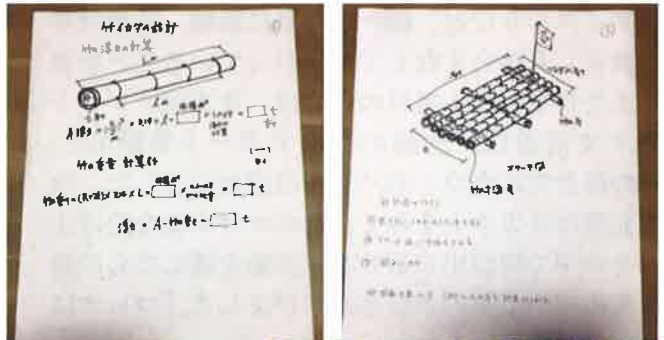
由布第2団では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の自粛期間中、各隊とも主な活動は実施していませんでした。令和2年6月1日から「新しい生活様式」を踏まえ、スカウト活動の再開を行いました。

自粛期間中、実施できなかった各隊の上進式や入隊式等においては、参加者の事前の検温とマスクの着用、手指消毒液による手指の消毒、各スカウト間との適切な距離の確保、室内では換気等を行って活動を実施しました。

津久見第1団



大海原へ 漕ぎ出そう!



新型コロナウイルスの影響でまだまだ思うように活動が再開できていなかった今年の夏?!

「スカウト達に楽しい活動を!」という思いを込めて津久見市荒代海岸において「SUPボード」というパドルを使って海面を漕ぎながら進んでいくサーフィンのようなボード体験を行いました。

あいにくの雨模様の中、練習をしながらスカウト達の歓声が海岸に響き渡り、楽しい時間を過ごしました。

また8月30日には、日頃スカウト活動を支えて頂いている育成団体「津久見ロータリークラブ」のみなさんをお招きして【カレー昼食会】を開催しました。ビーバー隊、カブ隊～サラダづくり、ボーイ隊、ベンチャー隊～カレーづくりを担当して参加してくれた方やマスコットをおもてなしました。

(もちろんマスク・手指消毒・検温を忘れずに)



集合活動の自粛を呼びかけてから、半年を迎えようとしております。いったんは収束するかに見えた新型コロナウイルスの感染症の流行ですが、残念ながら収まるどころか再拡大の兆しを見せております。

私達も集合活動の自粛から「新しい生活様式」にあわせた活動の再開へと踏み出しましたが、いま最も大切なことは、地域の感染拡大状況を注視し、スカウトたちの安全を第一に考えた活動を行うことです。

今一度「スカウト活動における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」(日本連盟HP掲載)をご確認下さい。(注意喚起より)



パイオニアリング

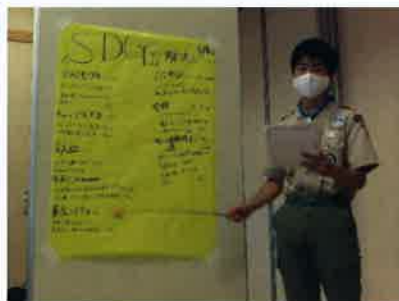
- 1. 期日ー令和2年7月23日～24日
- 2. 会場ー津久見市四浦 高浜海岸
- 3. 参加者ーベンチャースカウト18名

3チームに分かれて計画・設計・準備を進めていきました。当日は、あいにくの天気となりましたが三艇とも無事に太平洋へ漕ぎだしていきました！



スカウトフォーラム

9月6日に大分県護国神社儀式殿をお借りして、「スカウトフォーラム」が開催されました。今年度のテーマは、「スカウティングとSDGs」ベンチャースカウト15名が参加して5つのアクションを決定しました。今後、12月14日までの100日間でこのアクションに挑戦していきます。



事業名 「ボーイスカウトとあそぼう」

ワクワク自然体験」

- 文部科学省公募「子供たちの心身の健全な発達のための子供の自然体験活動推進事業」について、日本連盟で一括受託のうえ、各連盟と連携し、全国で展開する。(約700会場)
- 本事業は、各団で改めてプログラムを構築するのではなく、例年、団で行っている自然体験をベースにしたスカウト募集集会、体験入隊の機会を活用して行う。
- 本事業としての対象は、小学生、中学生。

大分県連盟の実施計画(案)

大分県連盟の事業回数4回は、本年度の事業計画等をベースに以下のとおり計画し取り組んで行く。なお、事業主体は、大分県連盟とし、全指導者が本事業の趣旨を理解し、開催地域団との連携により計画実施し取り組んで行く。

- ①11月3日(火) ビーバーフェスティバル
- ②11月8日(日) カブフェスティバル
- ③日程調整中 県北地域での体験会
- ④12月13日(日) 県南地域での体験会



ボーイスカウト大分県連盟よりのお知らせ

「ビーバースカウト・カブスカウトは11月に別府に集合!!」

◇第7回ビーバーフェスティバル

とき-令和2年11月3日(火)文化の日
会場-別府公園

◇第7回カブフェスティバル

とき-令和2年11月8日(日)
会場-別府公園